

更生保護施設

再出発を支える人たち

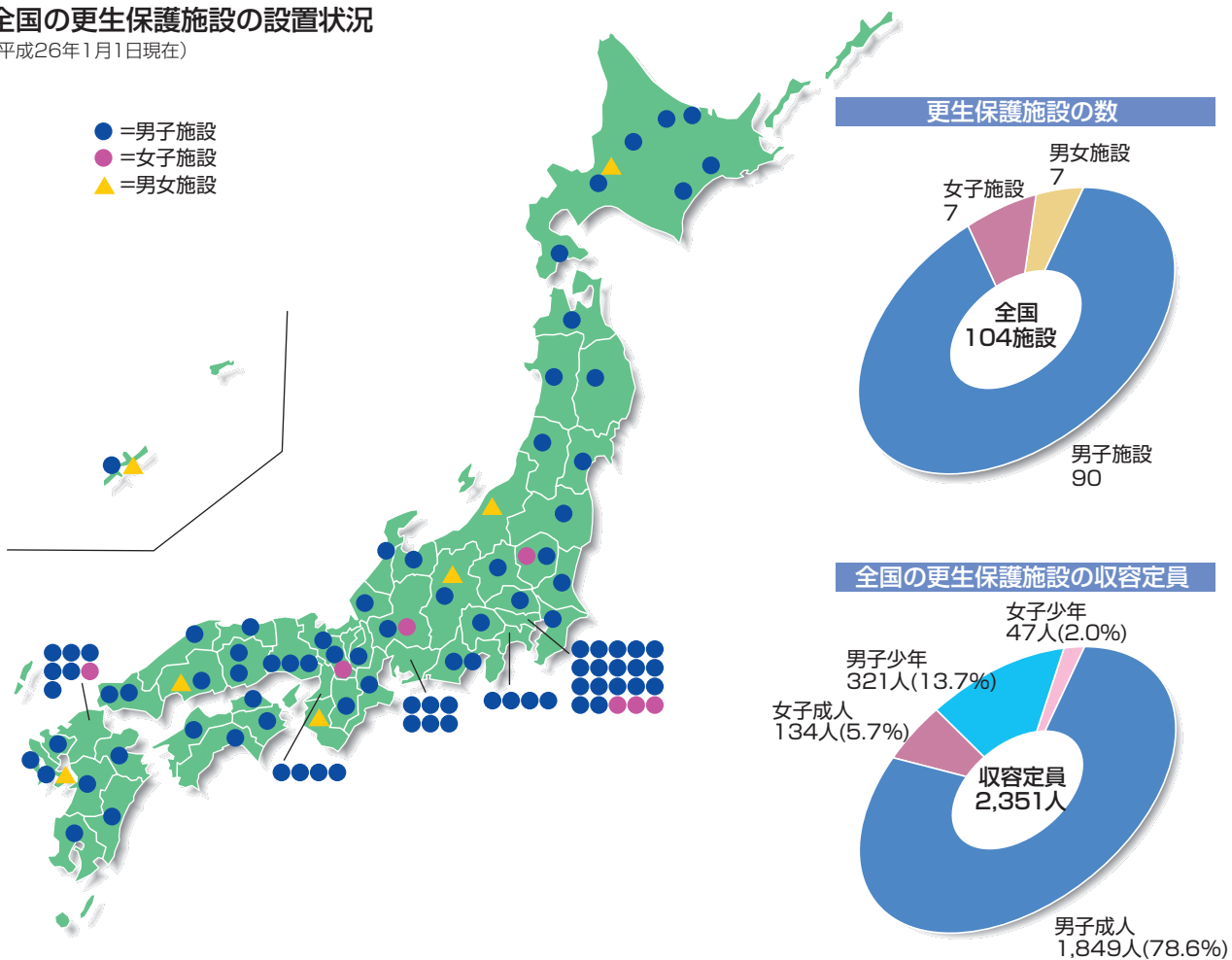


更生保護施設は、年間約**1万人**の犯罪や非行をした人の再出発を支えています

犯罪や非行をした人の中には、頼ることのできる人がいなかったり、生活環境に恵まれなかったり、あるいは、本人に社会生活上の問題があるなどの理由ですぐに自立更生できない人がいますが、**更生保護施設**は、こうした人たちを一定期間保護し、円滑な社会復帰を助けて再犯を防止するという重要な役割を担っています。

全国の更生保護施設の設置状況

(平成26年1月1日現在)

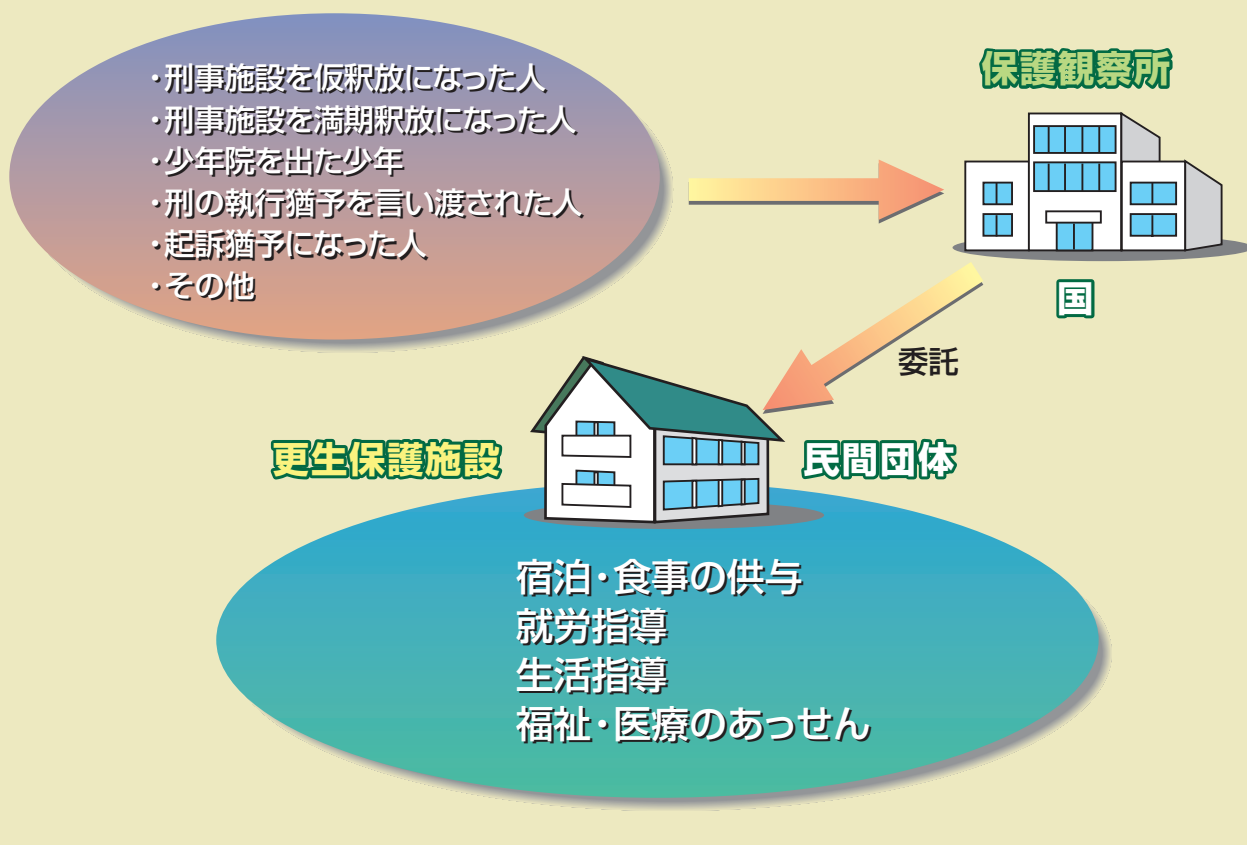


更生保護法人

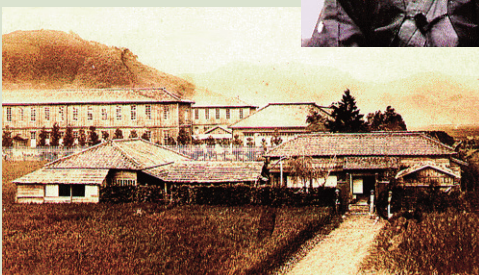
「更生保護法人」は、平成8年4月に施行された更生保護事業法により創設された法人制度で、更生保護施設の運営など更生保護事業を営むことを目的とする団体が法務大臣の認可を受けて設立するものです。

刑事施設から仮釈放となる人の約**5人に1人**が更生保護施設に帰住しています

更生保護施設に入るまで



●●コラム●● 更生保護施設のはじまり



明治のころ、日本で最初の更生保護施設といわれる「静岡県出獄人保護会社(現在の静岡県勸善会)」を設立したのは、天竜川の治山治水等で有名な民間事業家、金原明善でした。彼は、自らの罪を反省して更生を誓って刑務所を出たものの、路頭に迷って自ら命を落としてしまった者の話を聞いて「改心して監獄を出た者を、社会の中でしっかりと保護する方法を考えなければならない」と思い立ち、保護会社を設立したといわれています。

更生保護施設の役割

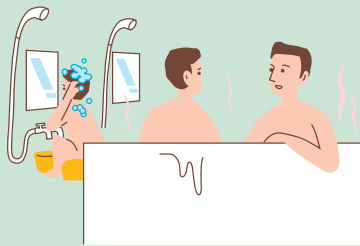
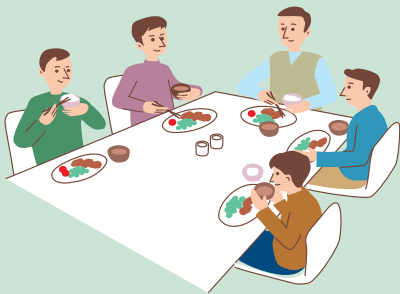
更生保護施設は、
宿泊場所や食事を提供するだけでなく、
入所者が社会生活に適応するために
必要な指導や援助を行い、
その再出発を支えています。



生活基盤の提供

入所者が安心して自立の準備に集中できる生活基盤を提供します。

宿泊場所や食事の提供



円滑な社会復帰のために

日常の生活指導のほか、入所者が地域社会の一員として円滑に復帰するための指導を行います。

社会生活に適応するための生活指導



社会奉仕活動



自立に向けて

入所者ができるだけ早く一人立ちをして、退所後も自立した生活を維持していけるように必要な指導や調整を行います。

就職に向けた指導や援助



貯蓄や 金銭管理の指導



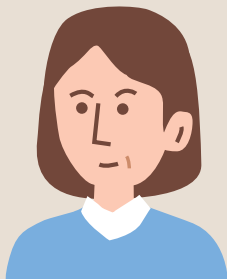
退所後における 住居の調整指導 福祉や医療機関 への橋渡し



再出発を支える人たち

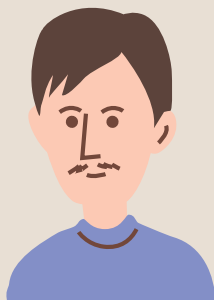
更生保護施設では、熱意のある職員たちが、入所者の再出発を支えています。

更生保護施設で働く人たち



施設長

更生保護施設の業務をまとめる責任者です。



補導主任・補導員

昼夜を問わず、入所者の指導や援助を行います。



調理員

あたたかい食事を作り、入所者の健康を支えます。



その他

施設の作業や事務を手伝います。

更生保護施設の実際

女性の自立更生を支える

● 更生保護施設 紫翠苑 (東京都八王子市)

八王子市街を一望できる丘の上の紫翠苑は、女子少年を主な対象として受け入れている更生保護施設です。家庭に代わって居室や食事を提供し、生活を支えながら職場探しを指導するなど、支援を必要としている女性の再出発を支えています。

「苑生は、保護者がいないか、いても引き受けられない事情があるか、あるいは保護者のもとでは更生が困難と



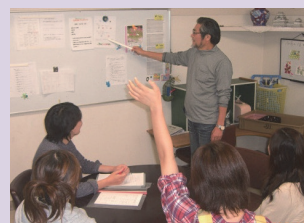
八王子市の高台に建つ紫翠苑。晴れた日には苑庭から富士山が見える。

判断されてここに来ています。肉親からの愛情に欠け、健全な社会生活への適応力に乏しいので、その分、柔軟な態度で根気よく接する必要があります。」(施設長)

紫翠苑では、苑生の自主性を大切にしながら、支援を行っています。また、ボランティアの支援による料理教室、バーベキュー会、クリスマス会、ピクニックなど多彩な行事を行なっています。ここを退苑した人たちからの電話やメールでも、こうした苑生活を懐かしむ声がたくさん寄せられています。



居室はすべて個室、洗面具などの日用品が完備されている。



ミーティング
役割活動の反省、行事計画、生活上の改善事項などを自由に話し合い、より良い生活環境へと結び付けます。

より積極的な処遇の展開 ～「就労支援」と「酒害・薬害等ミーティング」～

● 更生保護施設 更新会 (東京都新宿区) 更生保護施設 静修会足立寮 (東京都足立区)

就労支援

西早稲田にある更新会は、入所者に対する就労支援に力を入れている更生保護施設です。

キャリアカウンセラーを講師に迎えて行われる就労支援セミナーは、きめ細かな就職指導を行っており、参加者は真剣な眼差しで講師の話に熱心に耳を傾けていました。

「セミナーはとても好評で、出席率も良好です。講師の話は具体的で、入所者の就労に役立っています。」(施設長)



就労支援セミナーの風景。講師による熱のこもった指導に、参加者も真剣な面持ちだ。

酒害・薬害等ミーティング

一方、東京の下町にある静修会足立寮は、早くからアルコールの問題に取り組んできた更生保護施設です。「入所者のうち、飲酒が原因で事件を起こした人が非常に多いです」と理事長の福田さんは語ります。

以前から酒害教育に力を入れてきた足立寮ですが、約20年前から、医療・福祉関係者の協力を得て、アルコール依存からの回復を支援するプログラムを導入し、最近では、薬物(覚せい剤・睡眠薬)やギャンブルの依存がある人も参加対象としています。

足立寮の皆さんは、「このプログラムを受講し、巣立っていったOBが元気な姿を見せるのが一番の喜び」と声を揃えていました。



金曜日の夜、専門家を招いて開かれる酒害ミーティング。退所者や一般人の参加も受け入れている。

他分野からの新規参入と高齢・障害者等の自立支援

●更生保護施設 雲仙・虹 (長崎県雲仙市)

長崎県島原半島にある雲仙岳の麓に位置する雲仙・虹は、平成21年3月に、社会福祉法人として全国で初めて認可を受けた更生保護施設で、高齢や障害により特に自立が困難な刑務所出所者等を一時的に受け入れる施設としての指定も受けています。

施設を運営する社会福祉法人南高愛隣会は、障害があっても「ふつうの場所でふつうの暮らし」を実現する



雄大な山並みを背後に建つ雲仙・虹。建物は、知的障害者入所更生施設として使用していたものを転用している。

ための実践と仕組みづくりに長く力を入れており、更生保護施設の設立は、「高齢や障害などの理由で特別な支援が必要な刑務所出所者等に対し福祉的支援を行いたい」(施設長)という法人側の意向がその背景にあります。雲仙・虹では、一人ひとりに合った支援計画に基づいて、法人がこれまでに福祉事



素麺工場における入所者の職業訓練の風景。法人の事業所において、日中活動の職業訓練や福祉サービスを提供している。



施設内における入所者の自炊実習の風景。社会生活を円滑に始められるように、入所者が食事の献立を考えた上、買い物をして自炊を行っている。

業で培ったノウハウとネットワークを活かしたきめ細やかな処遇が展開されています。

「司法から福祉へバトンをつなぐ架け橋としての役割を果たしていきたいと考えています」(施設長)。

ある女性入所者は、これまで十分な福祉の支援を受けられず、犯罪を繰り返していましたが、現在では法人が運営する事業所で自立訓練等の福祉サービスを利用し、施設退所後の自立生活に向けて日夜頑張っているところだ。

「矯正施設で初めて会ったときよりも顔の表情が日々良くなっているようです。ここ雲仙・虹から再チャレンジして、夢をつかんでほしいと願っています」(施設長)。

老朽化への対応を迫られる施設

●更生保護施設 東京実華道場ステップ竜岡 (東京都文京区)

更生保護法人東京実華道場は、北海道で司法保護事業を営んでいた北見実華道場の東京支部として昭和24年に設立されました。以来60年以上の歳月が流れ、現在では、東京都文京区と墨田区の2箇所でする更生保護施設を運営しています。

その一つ、文京区の閑静な住宅街にある「ステップ竜岡」は、約50年前に現在の姿になりました。木造2階建



木造2階建ての寮の外観。マンションが立ち並ぶ都会の中で、古さが一段と際立つ。

ての寮には、16名の入所者が暮らすことができます。

現在の理事長が東京実華道場を引き継いでから30



畳敷きの居室。6畳間に2人の入居者が暮らす。

年余り。施設長を務める妻と共に、被保護者が更生のステップを一段ずつ着実に進むことを願って、日々誠実な努力を続けています。

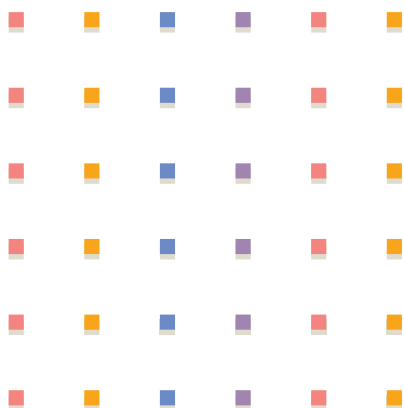
老朽化のため、建て替えを要する更生保護施設は全国に多数ありますが、こもその一つ。多くの施設は財政的な余裕がなく、自力で施設整備をすることが困難な状況です。



入所者の居室が並ぶ2階の廊下。木製の扉から音が漏れ聞こえる。

更生保護施設

再出発を支える人たち



更生保護施設がその役割を十分に果たすために、更生保護事業へのご理解、ご支援をお願いします。

更生保護法人は、特定公益増進法人に指定されており、ご寄付いただいた団体、個人につきましては、法人税法または所得税法の規定により、税制上の特例措置を受けることができます。